

アユ資源の状況について

滋賀県内水面漁場管理委員会
令和4年(2022年)8月10日
滋賀県水産試験場

1. 魚探による資源調査

- 水深30m等深線付近の周回コースの魚探調査の結果、7月の魚群数は174群（平年比123%）となった（図1）。今年の周回魚探の魚群数は4月を除いて平年比79～123%であり、おおむね平年並みとなった（図2）。

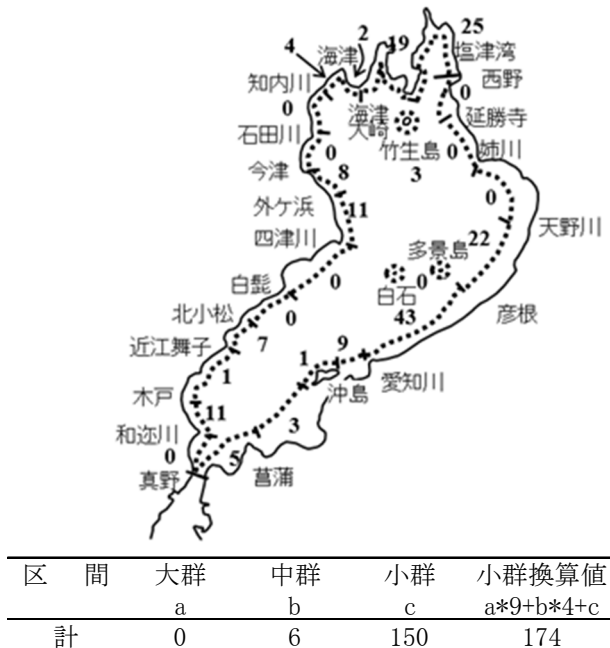


図1. 令和4年7月魚探結果

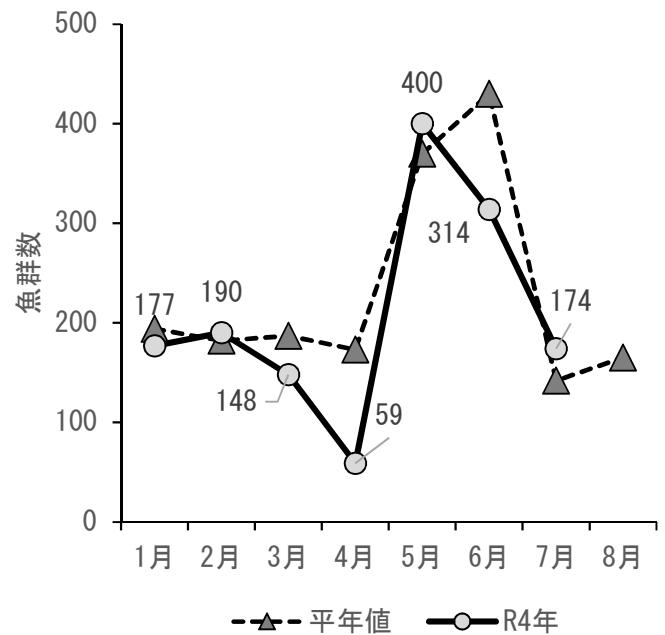


図2. 令和4年の周回魚探結果の推移

2. 漁獲物体型調査

- 令和4年エリ漁獲魚の平均体長は漁期当初から平年値を下回り、産卵数が激減した2017年と同水準で推移していたが、5月以降急激に大きくなり7月には平年を上回った（図3）。栄養状態を表す肥満度は4月から5月にかけて一旦回復したものの、7月には再び低下している。ただし、肥満度が大幅に低下した2012年ほどではなく（図3）、産卵が多かった昨年と同水準である。

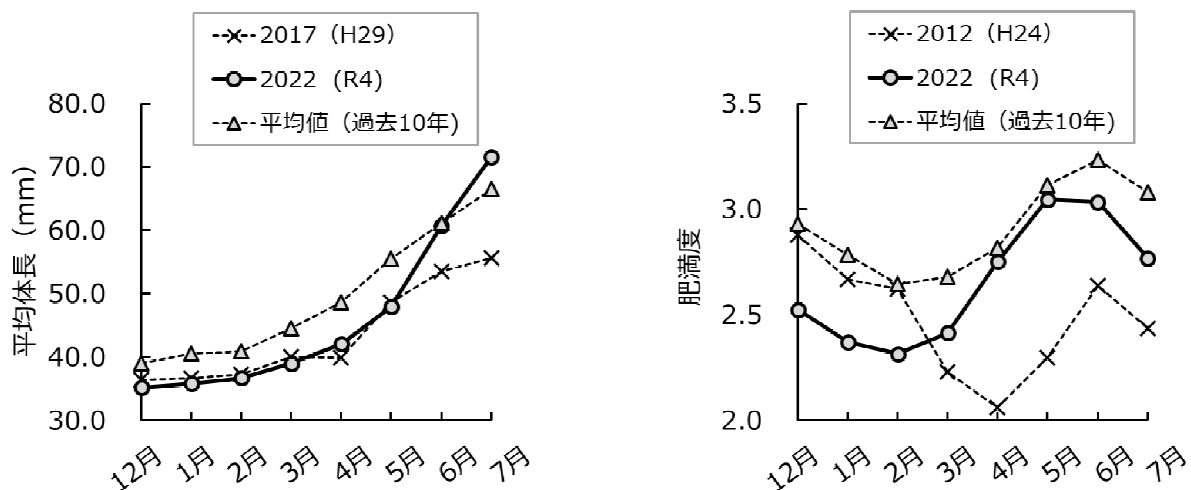


図3. 令和4年エリ漁獲魚の体型